

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

名古屋大学整形外科では附属病院を通じ、患者さんに適切な医療を提供すべく努力を行っております。その一環として、このたび患者さんの病気についての情報をもとに研究を実施しております。本研究は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を順守して行われます。

研究課題名：粘液型脂肪肉腫・滑膜肉腫・通常型軟骨肉腫における NY-ESO-1 の発現と臨床成績に関する研究- 骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）多施設共同研究

施設研究代表者：西田佳弘

名古屋大学大学院医学系研究科運動形態外科学講座整形外科学 特命教授

1. 研究の意義

NY-ESO-1 は、特定の腫瘍組織と精巣などごく一部の正常組織でのみ発現しているタンパクであり、がん免疫療法のターゲットとして有望視されています。骨軟部腫瘍では、粘液型脂肪肉腫、滑膜肉腫、通常型軟骨肉腫で高発現が報告されています。この研究では、粘液型脂肪肉腫、滑膜肉腫、通常型軟骨肉腫について、NY-ESO-1 の発現を調査するとともに、腫瘍の悪性度や治療成績などとの関連を解析します。その結果、これらの肉腫が NY-ESO1 をターゲットとしたがん免疫療法の対象として、有望かどうか明らかになることが期待されます。

2. 研究の目的

この研究の目的は、粘液型脂肪肉腫、滑膜肉腫、通常型軟骨肉腫について、NY-ESO-1 の発現状況を明らかにするとともに腫瘍の悪性度や治療成績などとの関連を明らかにすることです。

3. 研究の対象

2006年1月1日から2015年7月31日までに診断された粘液型脂肪肉腫、滑膜肉腫、通常型軟骨肉腫の方が本研究の対象となります。

4. 研究の方法

対象患者さんの、①腫瘍切除標本の未染色プレパラート15枚、②臨床病理学的情報を国立がん研究センターの事務局に収集します。なお、個人を識別可能な情報は収集しません。

収集された腫瘍切除標本の未染色プレパラートを、組織診断判定機関である獨協医科大学越谷病院に送付し、組織診断を確認します。その後、抗原発現解析判定機関である東京医科大学に送付し、NY-ESO-1 発現を調査します。

すべての患者さんの調査が終了した時点で、NY-ESO-1 発現状況と臨床病理学的因子との関連について後方視的に解析します。本学は 対象患者さんの上記情報や予後情報を提供

します。

5. 対象者個人情報の保護について

患者さんの名前などの個人情報は、いかなる場合も厳重に保護されます。患者さん個人が特定されないやり方で情報を収集します。対象となる患者さんの識別はこの研究専用について別途割り振られた登録番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにします。

この研究は、名古屋大学医学部研究倫理審査委員会で、研究が科学的に妥当であるかどうかだけでなく、参加いただく患者さんの安全が確保され、人権が保護されるかどうかについて十分に検討され、承認が得られた上で行われます。

6. 研究結果の公表

結果は、整形外科または腫瘍関連学会において発表し論文発表される予定です。公表については個人を特定できないような形で行います。個人の検査結果等に関する開示は行わない予定です。診療情報の利用について希望されない場合は、その方のデータを本研究から除外して研究を行います。

7. お問い合わせ先

名古屋大学医学部医学系研究科運動形態外科学講座整形外科学 特命教授 西田佳弘

連絡先：名古屋大学医学部整形外科教室

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL 052-744-1908、FAX 052-744-2260

苦情等の受付先：名古屋大学医学部総務課 TEL 052-744-2479